

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月20日

事業所名

ステラ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		日々によって増減する為、必ずしも適切とはならないが、都度スタッフが個室や外を薦める等して、バランスを取っている
	2	職員の配置数は適切である	○			現状人員は足りているが、個別支援が必要な場合は都度協力して対応が可能なようにしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			段差は少なく、バリアフリーは行き届いているが、窓際の手すりに関しては登ってしまう利用者も居るため、良し悪しである
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		スタッフの入れ替えがあった為、育成と合わせて改善に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		毎年アンケートを行い、保護者の声を反映出来るようにしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			HPにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在外部評価までは行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			5年度はスタッフの入れ替え等で参加機会が減っていたが、6年度は積極的に研修の機会を確保に努めしていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援計画の内容を日々の支援に取り入れ、更新の為にアセスメントを行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		ツール等は多くないが、アセスメントシートは画一化された物を使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ間で意見を出し合ってプログラムを立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			新年度に向けて新しいプログラムを検討していきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		多少の差はあるが、大きな変化はない。今後長期休暇ならではの支援を考えていきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動が苦手な利用者が多く、どういうアプローチをしていったらいいか、考えていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングで打ち合わせや日々の確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日のミーティングにて振り返りを行っている。重要事項があつた場合は当日中に確認を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			ミーティングで振り返りを行うと共に日々の記録を取る事を徹底している。今後、寄り良い形式や記録の取り方を追求していきたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			参加出来る職員間で話し合い、定期的なモニタリングと計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		○		複数の活動を組み合わせ、より良い支援を検討していきたい
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			保護者から予定表を確認させていただいたり、直接学校とやり取りを行い、送迎時のトラブル等を減らすようにしている

関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		原則医療的ケアの必要な児童は受け入れをしていないが、受け入れの場合はしっかりととした体制を整えていきたい
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		進学前の引継ぎ等の支援会議には参加するようにしている
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		引継ぎ連絡等必要であれば支援会議に参加し、情報の提供を行っている
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在は行っていないが、今後検討していきたい
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	コロナ以降機会を中々設けられていないが、検討していきたい
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在は行えていないが、今後検討していきたい
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳及び口頭にて日々のやり取りを行っている
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		質問や悩み等には都度相談に乗るようにしているが、専門的なトレーニングまでは行っていない
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に、契約書や重要事項説明書にて説明している。
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		都度、相談や悩みに対しては適切に対応するように心がけている
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現在、父母の会や保護者会等は設けていない。必要な声があれば検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情要望があつた際には都度スタッフ間で話し合い、解決策を出し合っている
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月お知らせを発信している
	35 個人情報に十分注意している	○			取り扱いには十分注意している
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			常に配慮するよう心掛け、情報伝達手段を検討している
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	現在は行っていないが、今後検討していきたい
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		現在マニュアルはあるが、まだ周知にまで至っていない。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		5年度はスタッフの入れ替え等で参加機会が減っていたが、6年度は積極的に行っていきたい
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年行っているが、定期的な研修の回数を増やしていきたい
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		契約時に説明も行っているが、今後どうしたら寄り良くなるのかを検討し、しっかりととした体制を作っていくたい
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在アレルギーのある児童はないが、受け入れの際にはしっかりととした体制を整えていきたい
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			都度ミーティングで話し合い、ノートに記載しているが、ヒヤリハットもしっかりと活用していきたい